

ドクター・ナース・介護ウエーブ 安心の医療・介護実現を求めて

11月9日、医師・看護師・介護職員の処遇改善や人員増などを訴え、アピールウオークと署名活動を行ないました。参加者の声を紹介します。

署名の協力に感謝

千秋病院 こすもす病棟
看護師 田中 美香

安心・安全の医療・介護実現のため、人員増と



直後に「同業者ですが、いいですか」と署名してくれる方がいて心が救われました。

短い時間の中で署名は15筆ほど集まりました。若い世代の方からの署名が多く感じました。今後も未来を担う人たちのために、少しでも明るい未来に変えられるような活動に積

極的に参加します。

現場の声を聞いて

千秋病院 B2病棟
看護師 前田 光疏

さまざまな病院や施設で現職として働いている方々が多く集まり、現場のリアルな声を聞くことができました。慢性的な人手不足で十分な休憩時間が取れず、患者さんにより良いケアを提供することが難しいとみなさん口をそろえていました。

働き手の供給が追い付いていないこの現状を受け止め、私たちもその当事者であることを認識し、積極的に職員の増員や社会保障の充実を求め活動に参加していく必

要があると感じました。少しでもこの声を

千秋病院 ひまわり病棟
看護師 服部 江里

今の医療・介護の現場の声を伝え、医療・介護職を増やすための署名を集めました。署名を集めるのなかなか難しいことだと実感しました。その中、若い人や看護学生の方の署名をもらいました。少しでもこの声を届けたいと思います。

夢が持てる職種に

岩倉デイサービスセン
ター・ちあき

介護福祉士 中山 宏美
介護の職場は人手不足のために寄り添った介護ができず悩んだり、心に余裕がないためにトラブルが起きたりと、介護職を志したときの思いを半ばにして職場を去る職員も少なくありません。他

産業平均より7万円も少ない今の賃金では生活や家族を守るために働き続けることも難しいです。いつまでも健康で働き続けることができよう

に、新しい職員が福祉に夢と希望を持って入ってこられるように、現状を伝え、国に改善を求める訴えを続けます。

今後も訴え続けます

特養ちあき
介護福祉士 尾関 真次

初めての参加で、署名の声掛けには少し勇気が要りましたが、「私も介護士です。頑張ってください」と署名してくれる方がいたり、若い人も進んで協力してくれ、発信することの大切さを実感しました。今後も、訴えを継続していきます。

〈6面輝け！職員で紹介〉

自治体キャラバン

地域の切実な声を届ける

今年の自治体キャラバンは、衆議院議員選挙の



江南市での懇談

期日前投票期間と重なりましたが、一宮市を除く自治体では予定通り懇談ができました。10月22日岩倉市、23日江南市で質問した内容を紹介します。

岩倉小規模多機能ホーム・ちあきの利用者で多いのは「一人暮らし・認知症・家族が遠方に住んでいる」という方です。いつまでも住み慣れた地域でその人らしく生活できるように我々は援助しています。

その中で多く上がる声が「ゴミ出しが困っている。遠くて持って行けない」です。他の自治体には、自宅付近までゴミ収集

江南市

藤が丘事業所ケアマネジャー2名で参加し、利用者負担の軽減、助成制度の拡大について訴えました。

江南市では2年前まで訪問介護助成制度があり

健友福祉会だより

ホームページ: <http://www.chikiki.com/fukushi>

これから 介護の世界で頑張ります！

介護保険サービスセンター・ちあき
介護支援専門員 小島 千佳子

江南市にある介護保険サービスセンター・ちあきにケアマネジャー(以下、ケアマネ)として配属になり4か月。私にとってケアマネの仕事は新しい分野で、定年後のスタート

は正直不安いっぱいでした。

しかし軒ごと携わるうちに、少し自信がついてきました。利用者さんやご家族の気持ちや困りごとを聞き、サポートする基本は同じ。今まで経験して

きた施設でのケアマネの業務では、施設内の各職種や本人・家族との相談を通して支援してきました。今は家族の介護力や本人の状況を踏



右が筆者

「ココのお店おいしいよー」など、さっそく台紙がシールで埋まっています。

選んで楽しむ外食ツアー

ケアハウスちあき 社会福祉士 桑原 友

ケアハウスちあきで「より深める」目的で始めました。外食はやはり格別で、黙食がいまなお推奨されるなか、特別な機会となっています。

「外食を楽しむ機会を持ち、入居者同士のコミュニケーションを

進めてほしい」と要望を出しました。

今回、新たな試みとして、行きたいお店を入居者さん

に選んでもらうアンケートを行ないました。アンケート用紙を貼りだしたところ、「どこ



3位は「お取り寄せ食卓」が選ばれました。今度は取り寄せ先を決めるために、シールを貼ってもらおうかな。

まえて調整します。

各介護サービスの仕組みや単位数、サービスでできること・できないことなど、今まで詳しく知らなかったことがたくさんありま

す。調べたり聞いたり勉強しながらサービスを提案しています。そんなハードルを越えながらですが、利用者さんの状態や状況、環境の把握を正確に捉えられるように心がけ、必要な介護を提供し、何よりも本人や家族の気持ちに沿った支援を目指して、これからも頑張ります。

なかには、「用事があつて今回は行けないけど、このお店好きだから貼っておいたよ！」という方も。交流をより深める機会になり、職員もうれしくなりました。